



大坂日々新聞紙



大坂日々新聞紙

第七百九十四号

高砂町某の娘おのぶは今年才中を学門ふいと
とめ親後柏寄のそとあや相沢彦兵衛方小通留
古御の両親と学門の師匠の字真と手紙
小入て来るをよろまひ守りて居し此宿の近辺あり
出火しきふ類焼たそふ及んで皆々逃げ出ると此
娘をさるき身きて火中へまがはせし彼の字真手紙を
取出し候ふ至孝公命を曾き余の童衆示しの
龜鑑と感かぬ人あり

文花堂誌

第九一

